



平成14年3月15日

関係各位

東京都新宿区四谷一丁目2番8号
高千穂交易株式会社
代表取締役社長 山村秀彦
(登録銘柄コード・2676)
問い合わせ先
取締役
経営システム本部長 赤堀寛人
電話 03-3355-1189

平成14年3月期通期の業績予想(連結・単体)の修正について

平成13年11月15日付当社「平成14年3月期中間決算短信」で発表いたしました平成14年3月期(平成13年4月1日~平成14年3月31日)の業績予想(連結・単体)を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正(平成13年4月1日~平成14年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	19,771	621	674
今回予想(B)	19,801	660	790
増減額(B-A)	30	39	116
増減率	0.2%	6.3%	17.3%
前期(平成13年3月期)通期実績	19,485	1,148	679

2. 単体業績予想の修正(平成13年4月1日~平成14年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	18,835	603	672
今回予想(B)	18,963	656	793
増減額(B-A)	128	53	121
増減率	0.7%	8.8%	18.1%
前期(平成13年3月期)通期実績	18,371	1,095	618

3. 修正理由

当事業年度は、厳しい景気情勢が続くなか、当初計画の修正を余儀なくされましたが、下期の後半に入り、新規商品及び新市場開拓などの推進の成果が出てまいりました。

(1)売上高につきましては、システム事業セグメントのセキュリティ事業で監視カメラに商品監視システム及び各種センサーを連動させたセキュリティシステムの大口受注が売上に寄与する見込みであります。一方、情報ネットワーク事業は、商品調達先であった米国モトローラ社の事業売却先である米国バンガードMSから販売代理権を取得し、下期、商談を再開したものの回復が遅れ、上期実績を約25%下回る見込みであります。そのため、当セグメントは、ほぼ前回予想通りですが、プロダクト構成が変動する見込みであります。

また、デバイス事業セグメントでは、半導体事業の既存物件が前年比で20%強低下する見込みですが、新規商品のアギア・システムズ社製ネットワークシステム向け半導体や他の代理店より新たに引き継いだ大口顧客の売上高が拡大し、半導体事業売上高は前年比15%強伸びる見込みであります。そのため、当セグメントは、僅かに前回予想を上回る見込みであります。

結果、全社の売上高は、僅かに前回予想を上回る見込みであります。

(2)利益につきましては、売上プロダクト構成の変動の影響を受けて、下期粗利益率が上期より1ポイント強上昇しかつ販管費が上期より圧縮できるため、経常利益が前回予想を上回る見込みであります。

また、当期純利益も投資有価証券売却益が見込みより約1億円増加したことから、前回予想を大きく上回る見込みであります。

当社は、今後とも新規商品の投入、新市場の積極開拓などの施策を進め、業績の向上に努めてまいり所存であります。

以 上